



2020年 春号 題字 三橋國民

発行日 2020年 3月15日
発行 町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
町田市役所2F
TEL 042-724-4362 FAX 050-3085-6517

企画・制作 株式会社VisionDesign
〒194-0021 東京都町田市中町1-17-11-3F
TEL 042-711-7770 FAX 042-711-7804

表紙撮影 國安 才治

6 特集1

春のフォトジェニック

10 特集2

伊賀 健一

発明から43年 面発光レーザーとの創造的旅路

オデッセイ

12 街を歩く

町田薬師池公園四季彩の杜

14 THEまち人 file031

金井町内会・町田市消防団第3分団第4部

16 THEまち人 file032

忠生自然第三クラブ

18 マチダdeグルメ

フォトジェニックな美食たち

20 カイル・カードの商店街へGO!

第4回 仲見世商店街&飲食街

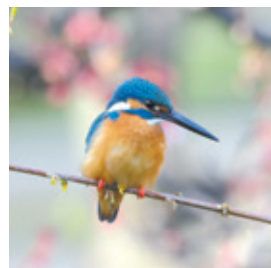
22 Machibito-Snap

「町田の春のおすすめスポット」

24 まちびと写真館 其の十六

25 プレゼント&アンケート

26 まちびとひろば



この冊子は40,000部制作し、1部あたりの単価は70円です
(職員人件費を含む)

*本紙掲載の写真・記事等の無断転載および複写を禁じます
*尚、本紙の表記内容は2020年3月15日現在のものです



住まいを **考える**

玉川学園・田辺邸

暮らしのエキスパートが住まう 崖に建つ混構造の家

原町田に店を構える『器 ももふく』店主の家を訪ねました。

無垢材と明快なプランの家は、手になじんだ器のように時を刻んでいます。

約20年前にご主人と二人で家づくりを始めた、和食器の専門店『器 ももふく』オーナーの田辺玲子さん。もともと住宅設計をしていた田辺さんは、家の構想を共有できる相手を探していたそう。加えて、取得済みだった高低差約6mの傾斜地にRC(鉄筋コンクリート)造を施工できる依頼先に鈴木工務店を選びました。

田辺邸は崖を背負うように建っています。接道レベルから2層分の高さまで届く土留めの擁壁を兼ねたRC造の地下室と、木造の最上階からなる3層の混構造です。各階ワンルームの明快なプランで、接道している地下2階は玄関ホール。当初は器店として使っていましたが、店舗を原町田に構えてからは、楽器を奏でたり、ご主人がサーフボードをケアしたりする多目的室です。地下1階には寝室と書斎コーナー、バスルームを配置。道路から見れば2階相当で、南窓もあり採光も十分です。最上

階はロフトと勾配天井をもつLDK。木造の柱梁を現し、南北に窓が開く開放的な空間が広がります。

「無垢材=ナチュラルというより、存在感が好きですね」と田辺さん。建物を様式やテイストで飾らなくとも、木、コンクリート、鉄といった骨太な素材からなる空間は、築20年を経てもなお力強く、ご夫婦が選んだ家具や食器などの道具と暮らしが映える器であり続けています。

また、今もインテリアの相談を受ける田辺さんは、「何々風の家ということより、まずは自分たちがどういう暮らしをしたいのかを整理すること。たとえば子育て世代であっても子どもに寄りすぎるのではなく、家と自分たちの一生を考えた暮らしのイメージを大切に」とも。曰く「食材に合う器が味を引き立たせる」ように、家という器が住む人の暮らしに大きく影響することを改めて教えてもらいました。



撮影 中村 絵

1. 最上階LDK。チークの床は経年で艶やかに 2. 幅1.2mのカウンターを造作したキッチン。北庭へ直接出られます 3. RCとモルタル、木、鉄の表情が印象的な玄関ホール 4. 高低差約6mの傾斜地に建つ。今春、メンテナンスを計画中 ※『器 ももふく』では3月28日から宮岡麻衣子氏の個展を開催。詳しくはももふくHPまで



株式会社 鈴木工務店

195-0053 東京都町田市能ヶ谷 3-6-22
tel 042-735-5771 www.suzuki-koumuten.co.jp